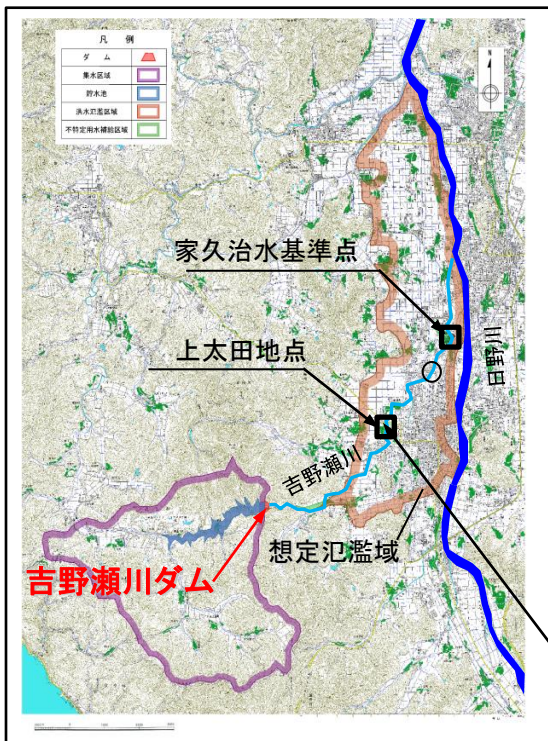


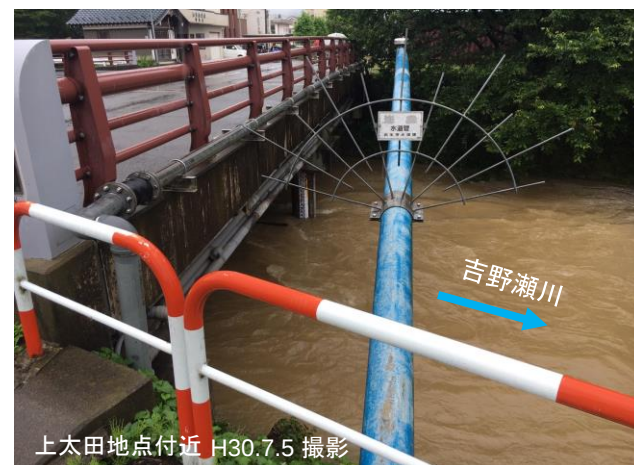
吉野瀬川ダムの効果（平成30年7月の大雨）

- 7月4日～7日の豪雨により、吉野瀬川流域の上太田地点にて時間雨量が最大25mm、累計292mmを記録。
- 堤防越水・溢水に伴う浸水被害は発生していないが、流域の9,650世帯、25,311人に避難勧告が発令された。
- 上太田地点において、避難判断水位(2.70m)を超えたが、仮に吉野瀬川ダムが整備されていた場合は、水位を約80cm低減させる効果があったと推測され、はん濫注意水位(2.40m)以下にすることができたと考えられる。

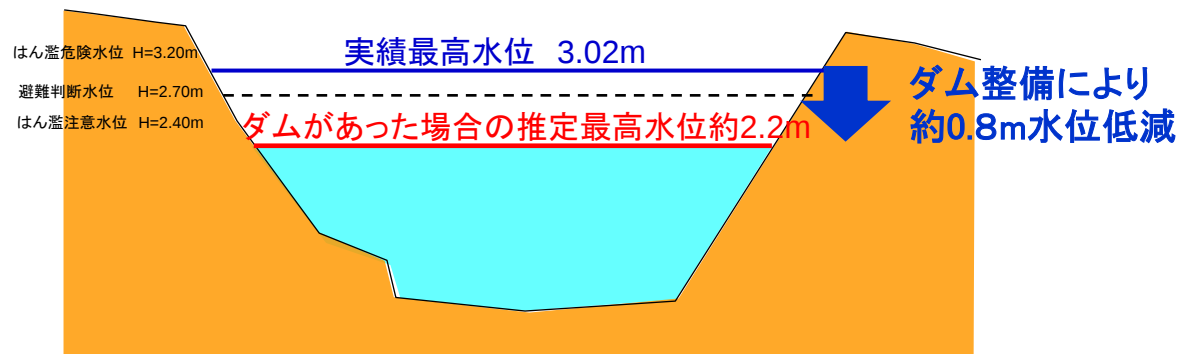
○位置図



○吉野瀬川の水位状況



○平成30年7月大雨時の水位 吉野瀬川上太田地点のダム効果(推定)



上太田地点の水位
ダム整備前: 3.02m
ダム整備後: 約2.2m
→約0.8mの水位低減